

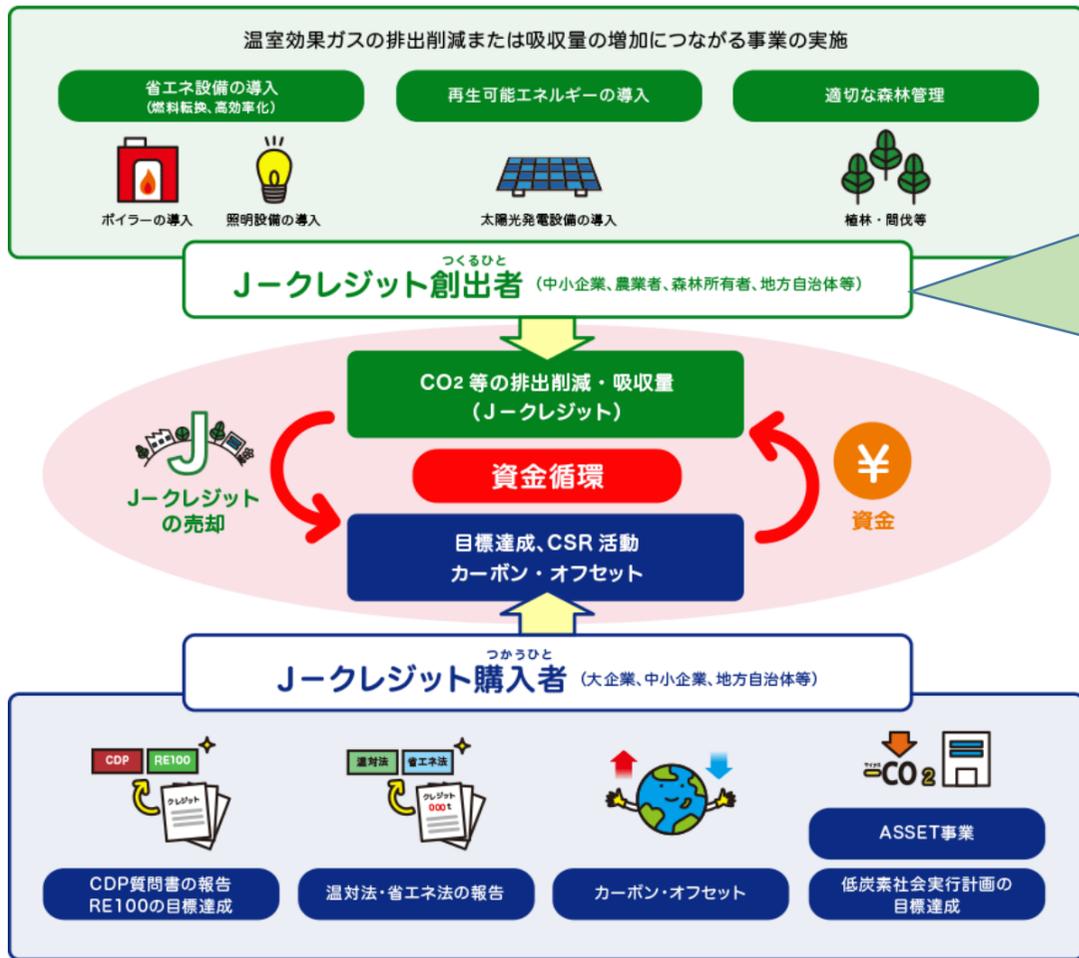
# 農林水産分野で「J-クレジット制度」を活用しよう！ ～温室効果ガス排出量の削減の取組～



## J-クレジット制度とは

J-クレジット制度とは、省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO<sub>2</sub>等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO<sub>2</sub>等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

本制度に基づくプロジェクトを実施することで、**地球温暖化対策に積極的な事業者等としてのPR効果**が期待できることに加え、クレジットを温室効果ガスを排出する側の企業等へ売却することで、その**売却益を投資費用の回収や更なる省エネ投資に役立てる**ことができます。



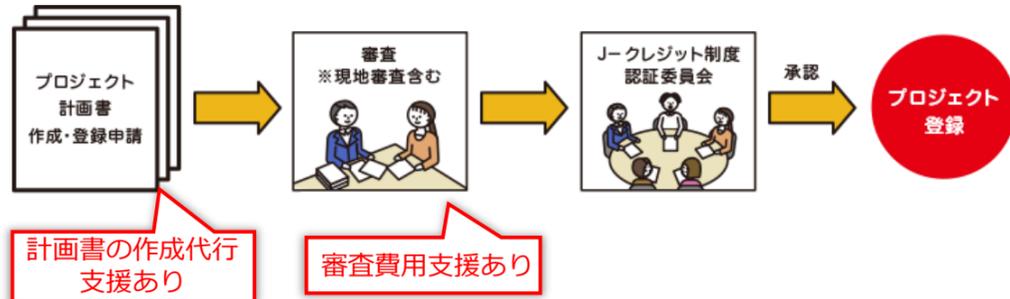
### J-クレジット創出者の主なメリット

エネルギーコストの低減

クレジット売却益

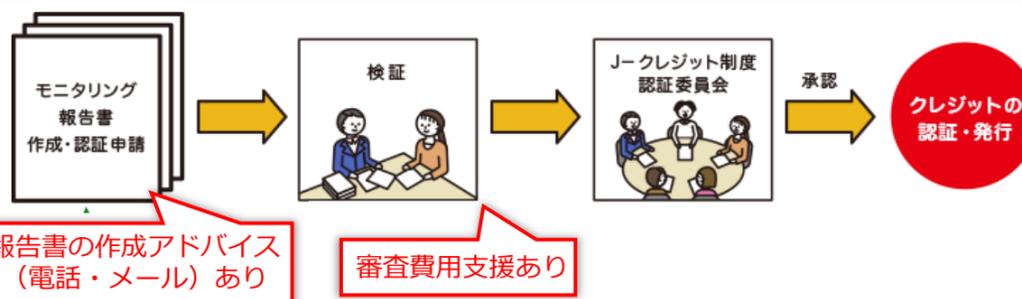
地球温暖化対策のPR効果

### STEP1 プロジェクトを計画し、プロジェクト登録の審査を受ける



### STEP2 プロジェクト実施を通して温室効果ガスを削減 (同時にモニタリングを実施)

### STEP3 モニタリング結果を報告し、クレジット認証の審査を受ける



クレジット認証毎に審査

J-クレジット制度でのプロジェクト登録、クレジット認証の流れは右記のとおりです。

詳細は、以下のJ-クレジット制度事務局までお問い合わせください。

J-クレジット制度全般 (登録、認証等)

お問い合わせ先

みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社  
サステナビリティコンサルティング第1部 J-クレジット制度事務局

TEL 03-5281-7588 E-mail help@jcre.jp

受付時間 平日9:30~12:00、13:30~17:30

J-クレジット制度について



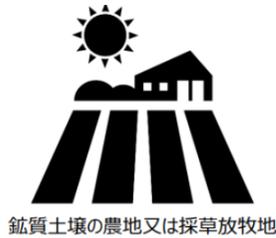
# 農林水産分野におけるJ-クレジット制度の取組

## 取組例①：バイオ炭の農地施用

バイオ炭を農地土壌へ施用することで、**難分解性の炭素を土壌に貯留し、温室効果ガス排出削減に貢献**できるほか、**土壌の透水性、保水性、通気性**の改善などの効果があるとされています。



### プロジェクト実施前



### プロジェクト実施後



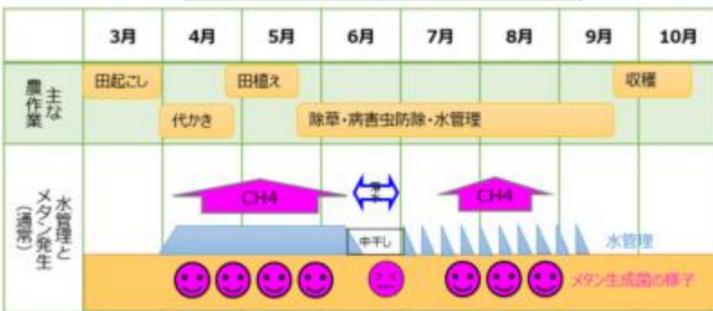
排出削減見込み量  
クレジット化



## 取組例②：水稻栽培における中干し期間の延長

水稻の栽培期間中に実施する**落水期間を長くすること (= 中干し期間の延長)**によって水田から発生する**メタン排出量の削減**が期待できます。

### プロジェクト実施前



### プロジェクト実施後



排出削減見込み量  
クレジット化



落水期間(酸化状態)を長くすることで、メタン生成菌の働きを抑制

## 施設・機械導入、取組等への主な支援策(農林水産省)

### みどりの食料システム戦略推進交付金

みどりの食料システム戦略に基づき、環境負荷低減と持続的発展に向けた地域のモデル的先進地区の創出と環境づくりを支援

定額、補助率  
1/2以内

### 強い農業づくり総合支援交付金 (うちみどりの食料システム戦略の推進)

温室効果ガス削減、化学農薬・肥料の低減、有機農業の拡大等の推進に必要な施設の整備等を支援

補助率  
1/2以内

### 産地生産基盤パワーアップ事業

産地の収益力強化に取り組む産地内の農業者が行う機械・施設の導入等を支援

補助率  
1/2以内

### 環境保全型農業直接支払交付金

化学肥料、化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせた長期中干しの取組を支援

定額  
(800円/10a)

### 【支援メニュー】

- ・中干し期間の延長などの環境にやさしい栽培技術の検証等のグリーンな栽培体系への転換支援
- ・環境負荷低減(省エネ機器導入)と収益性向上を両立した施設園芸産地の育成
- ・未利用資源(稲わら、もみ殻等)のエネルギー利用促進の調査支援
- ・地産地消型バイオマスプラント、バイオ液肥散布車の導入支援

### 【対象となる施設例】

- ・ヒートポンプを導入した低コスト耐候性ハウス
- ・バイオ炭製造施設
- ・堆肥生産施設、堆肥流通施設



水田の「中干し期間の延長」

### 【対象要件】

- ・主作物が水稻であること
- ・水稻の生育中期に10アールあたり1本以上の溝切りを実施した上で14日以上の中干しを実施すること

## お問い合わせ先

農林水産分野のJ-クレジット制度について

農林水産省大臣官房みどりの食料システム戦略グループ 地球環境対策室

農林水産分野のJ-クレジット制度

URL

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/climate/jcredit/top.html>



施設・機械導入等の補助事業について

東北農政局生産部生産振興課 補助金グループ  
TEL 022-263-1111 (内線4337)